

3月5日 朝礼にて 校長講話

今日は何回も読んでいる「ニンジャさるとびすすけ」シリーズです。むかしむかしのさるとびすすけのむすこのさるとびすすけのおはなしで、「おとうちゃんとおかあちゃんのどっちが正しいの巻」とか、「どうしたらいじめがなくなるの巻」を紹介しました。今日は、「しんだらどうなるの巻」です。



死んだ後はどうなるのかわからないけれど、一生懸命生きることが大事なんだね。7年前の3月11日に、東日本大震災という大災害が起こったんだよね。それで、18000人以上の人が亡くなりました。みんなと同じ小学生も亡くなりました。まだまだ生きていたい、色んなことがしたいと思っていた人たちの命がなくなりました。朝、「行ってきます」って言って学校に出かけて、夕方「ただいま」って帰って行くのが当たり前なんだけど、そうじゃなくなってしまいました。何よりも命が大切だと思うので、自分の命も、友だちの命も大事だと思って生活して行ってほしいと思います。7年経っても復興になっていないところもあって、6年生の子たちは、絵手紙を描いてくれました。命の大切さを忘れないで生きて行って下さい。